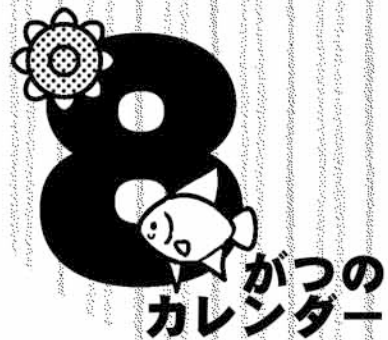


日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



- 月曜日はお休み。
- 第3水曜日はお休み。
- 金曜日は午後1時から開館。



おはなしがい

◎8/12(土) ◎8/26(土)
14:00から おはなしの部屋(2階)

Cinematheque シネマテーク こどもえいがい 視聴覚室(2階)

	10:30~	13:00~	15:30~
8/5(土)	はだしのゲン	評議	火垂るの墓
8/6(日)	はだしのゲン	うなぎ(完全版)	二十四の瞳
8/12(土)	アイツ・ジャイアント		戦争は終わった
8/13(日)	アイツ・ジャイアント	0-マの休日	戦場のピアニスト
8/19(土)	かんからさんしん		二十四の瞳
8/20(日)	かんからさんしん	ミトとジュリエット	アガツ零年 <small>この回のみ 16:00から</small>
8/26(土)	のび太の宇宙開拓史		戦場のピアニスト
8/27(日)	のび太の宇宙開拓史	シャ・ツク・ホーム	僕の村は戦場だった



◎2006年8月号◎

みなさん、こんにちは。

毎日暑い日が続いていますが、夏バテしていませんか？

図書館には、この暑さも吹き飛ばしてくれるような面白い本や、

新しい本がたくさんあります。外はとても暑いけど、

図書館にも遊びにきてくださいね。今回のクローバーでは、

予約とリクエストのやり方を詳しくご紹介いたします。

?予約・リクエストをするには?

図書館にはたくさんの本や雑誌・CD・DVDなどがありますが、読みたい本や観たいDVDが“貸出中”になっていたり、もともと図書館には所蔵がないものもあります。そんなときどうしたら良いのでしょうか。図書館には『予約』や『リクエスト』といった便利なサービスがあります。



◎予約◎

貸出中の資料にのみ予約をすることができます。

→図書館カウンター / OPAC / インターネットで受付。

◎リクエスト◎

読みたい資料が図書館に無いとき、図書館がその資料を“購入”して利用者のかたに貸出を行うサービスです。もちろん、無料です。ただし、リクエストできるのは、潮来市内に住んでいる人、通勤・通学している人のみになります。リクエストされた資料は“必ず購入できるとは限りません。”あらかじめご了承ください。

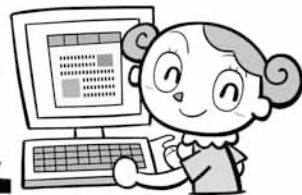
→図書館カウンターでのみ受付。

A・インターネット・OPACで申込み。

まずは、予約したい資料を検索しましょう。貸出中になっていれば、“予約”というボタンが表示されます。後は、画面の指示にしたがってください。OPACで予約すると“予約確認票”がレシートで出力されます。

予約には、パスワードが必要になります。パスワードはあらかじめ図書館カウンターでご登録してください。

*パスワードは、お忘れにならないお好きな数字4ケタになります。



B・図書館カウンターで申込み。

カウンターで予約（リクエスト）用紙をもらって、お申込ください。もし、予約したい資料の名前を正確に覚えていないときは、図書館スタッフが調べさせていただきます。



としようしりょうりゆうひょう 図書・資料利用票		月	日	担当者:
予約 種類	購入 希望する方に ○印	その他 参・AV	データ入力口 / 貸出	
☆太線内に記入してください。				
氏名	潮来太郎			
利用者番号	0000001			
タイトル	東京タワー			
資料番号				
著者名	予約 or リクエストする 本のタイトル			
出版経 ISBN	出版年	価格		



『ズッコケ3人組』シリーズ

全50巻、那須正幹 作、ポプラ社文庫、913ナス

『ズッコケ3人組』と聞いて懐かしく思う方は多いのではないのでしょうか。戦後児童文学最大のベストセラーとして、今もなお小さなお子様から大人の方まで人気があります。実はこの「ズッコケ3人組」シリーズは50巻（ズッコケ3人組の卒業式）ですべて完結しました。ハチベエ、ハカセ、モーちゃんという小学6年生の男の子3人組が架空の街・稲穂県ミドリ市を舞台に、さまざまな騒動を起こす物語。学校を主な舞台としながらも、海外旅行、家出、ダイエット、オンブズマンなど、時代のキーワードを巧みに取り入れた話は、どんな人が読んでも面白いと感じる内容ばかりです。まるで、時代と共に変わる子どもの姿を表し、作品がその時代の子どもの年代記としても読めるようにも思えます。ぜひ、ズッコケワールドを味わってみてください。



『八月の路上に捨てる』 伊藤たかみ 著、文藝春秋、F-イト

第135回芥川賞が発表されました。受賞したのは伊藤たかみさん。奥さんは同じ作家の角田光代さんなんです。さて、受賞作品は『八月の路上に捨てる』です。離婚寸前の脚本家志望だった30男が妻のこと、離婚に至る過程を語っていく話です。男はフリーターで自販機のルートセールスのアシスタントをしている。相方は水城さんという女性で、彼女も離婚歴がある。男は、自販機の詰め替え作業をしながら、妻が二度の転職を経て、徐々に精神を病んでいく様子を語って聞かせる。互いに愛していたのになぜ？若い男女と、二人をとりまく社会。現代の若夫婦の実態をリアルに表現した作品です。